



発行所  
 (一社)福島県電設業協会  
 発行人 大槻博太  
 〒960-8114  
 福島市松浪町9-6  
 (福島県電設会館)  
 TEL (024) 533-6226  
 FAX (024) 533-6235  
 E-mail: info@fukudensetsukyo.or.jp  
 編集印刷 福島建設工業新聞社  
 福島市西中央2-59

### 県土木部意見交換

# 総合設備協会で課題検討

インターンシップ事業 教員との意見交換を目指す



## 令和5年度事業計画決定

当協会は3月20日、福島市の協会大会議室で令和4年度第3回理事会を開き、令和5年度事業計画を決定した。インターンシップ支援事業の充実強化に向けて、高校の電気科教員や進路担当教員との意見交換会実現を目指すほか、建築BIMに関する研修会開催も検討する。総合設備協会の枠組みで昨年開催した県土木部との意見交換会は、実効性を高めるため、総合設備協会傘下の3団体が設計・施工の課題を整理して改善を検討し、県との意見交換へ繋ぐ。

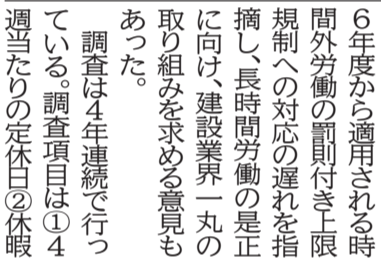
令和5年度は人材育成 技術の習得・普及を図る事業を中心に、建設DXとともに、発注機関とのデジタル技術やBIM等 意見交換などを通じて成

## 当協会員 休日確保の動き進む

### 県産産連 適正な建設システム調査

県建設産産連団体連合会(県産産連)は1月31日、福島市の県建設センターで「適正な建設生産システム構築並びに担い手確保に向けての懇談会」を写真Ⅱを開き、当協会を含む県産産連加盟8団体の会員を対象に行った建設生産システムに関する

令和4年度アンケート調査結果を基に、担い手確保や働き方改革の課題について意見を交わした。当協会から永井博副会長、長野内忠宏専務理事が出席した。調査結果によると、休日数は全体では増加傾向にあるものの、調査を開



出席者からは今後、コロナ終息に伴い民間の設備投資が回復した場合、現状でも休日確保が困難

な民間工事で働き方改革が推進できるか懸念の声が上がっており、施工主を含めた意識改革や職人の労務費アップの必要性などが意見として出された。令和6年度から適用される時間外労働の罰則付き上限規制への対応の遅れを指摘し、長時間労働の是正に向け、建設業界一丸の取り組みを求める意見もあった。

調査は4年連続で行っている。調査項目は①4週当たりの定休日②休暇

果物の品質確保やより良い受発注環境の整備に努める。引き続き「総務」技術安全「広報」の3委員会体制で事業を実施する。

インターンシップ支援事業は、一部の支部で実施していたものを平成25年度に協会の公益活動として全県下に拡大。高校生や専門学校生の職業体験学習に協力すること、電気設備工事業に対する理解促進や興味を持つってもらう、きっかけとして、昨年度に新たに2校を受け入れた。

本格導入から10年が経過し、より効果的な事業とするため、学校側との懇談の場を設け、キャリアコラムなどの改善につなげる。県内企業への就職率を向上させる参考にもしたいと考え、学校側との調整を進め、3校程度での実施を目指す。

技術力アップに向けた取り組みでは、当協会継続教育事業(CPD)と建

設業振興基金CPD制度の本格的な活用を図りながら、各種研修講習会を実施する。Master制度勉強会は引き続き、1級電気工事施工管理技士の試験対策を実施するとともに、1級電気通信

工事施工管理技士の資格取得に向けた講習を検討する。

BIMに関する研修や県管轄設備担当者との合同技術研修会(仮称)の開催も検討。一部支部で実施している県出先機関管

理士との懇談会は、全県拡大に向け、今年度2事務所程度での開催を目指す。

県土木部との意見交換会は当協会と県空調衛生工業事業協会が出席し、令和4年度に初めて開催した。現場の課題改善には設計段階での対応も必要になることから、今年度は意見交換に県設備設計事務所協会も参加予定。3団体で事前に課題等に対する認識を共有し懇談

に臨む予定。総務委員会ではこのほか、建設キャリアアップシステムの普及や働き方改革の推進に取り組むとともに、各会員によるBCP(事業継続計画)策定の検討に取り組む。平準化や分離発注、地元企業活用、県入札制度などの要望活動も引き続き行う。技術・安全委員会は現場研修会や安全大会、技術研修会(県総合設備協

会主催)を予定。広報委員会は女性トークサロンの開催を計画している。

理事会には14人が出席した。大槻博太会長がいさづいた後、令和5年度事業計画・収支予算案を協議した。第73回定時総会は5月31日に開催する。理事会に先立ち、今年度第5回正副会長総務委員会、同第2回技術・安全委員会、同第2回広報委

員会を開いた。

鳥市の協会談話室で令和4年度第4回合同会議Ⅱ写真Ⅱを開いた。

大槻博太会長、永井博、小宅武副会長、車田昭

副委員長、渡部昌彦相双

支部長、野内忠宏専務理事が出席した。

各氏が支部管内の公共・民間事業の現況や展望などを報告し、県内電

設業界の課題等を確認した。今後の協会事業・運営等について意見を交わ

した。

した。

今後の事業を協議

正副会長総務委が合同会議

当協会の正副会長と総務委員会は1月30日、福

島市の協会談話室で令和4年度第4回合同会議Ⅱ

**Panasonic**

LEDリニューアルが、**経営に効いた。**

A Better Life, A Better World

コスト回収、約3年\*

蛍光灯と比べて最大約59%の省エネ※大幅なコスト削減に。

職種・用途にフィット

約8,000種のラインアップ。「1台・1列から」調光も可能。

業務を止めずに導入

無線調光タイプは、信号線の工事が不要で短工期・省施工。

**iDシリーズ**

一体型LEDベースライト

※従来蛍光灯器具FSA42001F VFN9とiDシリーズ40形5200lmタイプ(直付XLX450DHNT LE9)との比較。新電力料金目安単価:25円/kWh(税込)[家電公正取引協議会が発出した「新電力料金目安単価27円/kWh(税込/一般家庭用)」から消費税相当額8%を抜いた金額で算出。]年間点灯時間3000時間、従来蛍光灯器具の交換費用(器具代・ランプ代)含む。 パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 福島電材営業所 〒963-8025 福島県郡山市朝日2丁目5-15 TEL.024-939-7731



# 建築は渡邊氏昇格

## 県土木部人事 本庁次長すべて交代 山田氏が技監

県は、4月1日付の定期人事異動を行った。土木部の主な幹部級人事は左表の通り。

部長級は技監に山田毅が昇格。次長級は本庁次長がすべて交代した。企画技術に青木隆直道路次長が交代した。

**県土木部の主な幹部人事（新任分）**

▼技監	山田 毅 (参事)
▼次長 (企画技術)	青木 隆直 (次長・道路)
▼次長 (道路)	矢澤 敏幸 (会津若松建設事務所長)
▼次長 (河川港湾)	中川 善則 (河川計画課長)
▼次長 (都市)	大竹 和彦 (南会津建設事務所長)
▼次長 (建築)	渡邊 佳文 (建築住宅課長兼避難地域復興局建築住宅担当課長)
▼参事	高萩 俊剛 (県南建設事務所長)
▼建築住宅課長兼避難地域復興局建築住宅担当課長	星 剛 (建築指導課長)
▼建築指導課長	村上 金彦 (建築住宅課主幹)
▼営繕課長	佐瀬 守昭 (営繕課主幹兼副課長)
▼県中建設事務所長	芳賀 英幸 (土木企画課長兼避難地域復興局土木企画担当課長)
▼県南建設事務所長	手塚 孝良 (下水道課長)
▼会津若松建設事務所長	野地 重和 (技術管理課長)
▼南会津建設事務所長	佐藤 敬 (高速道路室長)
▼富岡土木所長	白岩十三雄 (土木企画課主幹)
▼福島空港事務所長	瓦葺 肇 (総務部入札監理課主幹)
▼県北流域下水道建設事務所長	高坂 宏哉 (企業局いわき事業所長)

河川計画課長、都市計画課長、建築指導課長に村上金彦建築住宅課主幹、営繕課長に佐瀬守昭営繕課主幹兼副課長が就任した。主幹級は建築住宅課主幹に物井大喜多房建設主幹兼建築住宅部長、兼建築住宅課長、建築指導課主幹に相馬胤茂国民健康保険課主幹(県後期高齢者医療広域連合派遣)、営繕課主幹兼副課長に橋本知幸会津若松建設課長、南会津建設所長は佐藤敬が務める。

佐藤敬高速道路室長、富岡土木所長に白岩十三雄土木企画課主幹、特設の福島空港所長は瓦葺肇の装柱工事見学、端子の油圧・圧着体験、高所作業車の乗車体験、あかりプラン作成▽光洋電設ⅡC A D体験、電気配線作成体験、高所作業車乗車体験、配電工事現場見学、電気自動車用充電コンセント取付▽早川電気工業Ⅱ現場見学、仮設分電盤作成、C A Dによる電気工図面作成

## 準備講習会5月開催

### 4日間に変更、内容充実

1級電気工事施工管理技士

当協会は5月12、13日と19、20日の計4日間、郡山市のビッグパレットふくしまで1級電気工事施工管理技術検定試験(第1次検定)の受験準備講習会を開く。今回から日程や講習内容を変更し、受講生の合格率アップを図る。

1級電気工事施工管理技士試験対策として毎年開いている。専門知識と経験を必要とする電気工事のエキスパートを育てる社会的役割を果たす観点から、員外企業の技術者の受講も募り、県内電設業全体のレベルアップを目指している。

講習はこれまで金曜日から連続3日間の日程で行っていたが、日曜日の開催を取りやめた。開催時期を早め、本試験1カ月前から2週にわたって実施することで、受講者の受験準備期間を確保。講習日を1日増やし、カリキュラムに簡易的な模擬試験や演習などを加え、講習時間は各日午前9時〜午後5時。講師は驚眼智春イーハードプラン代表が務める。テキストとして「1級電気工事施工管理技術検定試験過去問題集2023年版(電気書院発行)」を使用する。

受講料(消費税込)は会員2万円、一般2万8000円。受講申し込みは締め切っているが、定員(40人)に余裕がある場合は受け付ける。問い合わせは協会事務局024(5333)6226まで。

## 高所作業車への乗車を体験する生徒(左)



高所作業車への乗車を体験する生徒(左)

## 2年生が就業体験

相双支部は、県立小高度インターシップに協力し、電気科の2年生4人、産業技術高校の令和4年

が令和4年12月6〜8日、会員企業3社で就業体験を行った。

実習内容は次の通り。▽青田電気商会Ⅱ新築現場見学、仮設分電盤作成、C A Dによる電気工図面作成

## 会員企業10社で初実習

平工業高校

いわき支部は令和4年12月21〜23日、県立平工業高校のインターシップに協力した。同校生徒の受け入れは今回初めて。電気工学科の1年生30人が実習や現場見学などを通して、電設設備工事業について理解を深めた。

会員企業で1〜4人の生徒を受け入れ、社会人としての心構えから、工事現場や完成施設の見学、簡易的な作業やC A Dの実習などを指導した。常盤電設産業大和電設工業、植田電機、三浦電気工業、いわき電気工業、クレハ電機、ジェイ・ケイ・リアルタイム、宮野電気興業、嵐電工事業、岩電機工業の10社が協力した。

実習を行う生徒ら



実習を行う生徒ら

## 協会のうごき

- 【12月】**
  - 1日 建築設備工事東北ブロック会議「建設業における働き方セミナー」
  - 6日 いわき支部忘年コンペ・支部例会・懇親会
  - 18日 根本匠衆議院議員在職25周年を祝う会
  - 19日 会津支部例会・懇親会
  - 21〜23日 県立平工業高校インターンシップ
- 【1月】**
  - 14日 福島支部安全祈願(塩釜神社)
  - 19日 会計事務所監査・協会事務所監査
  - 20日 会津支部例会・新年会
  - 25日 建築3団体合同賀詞交歓会
  - 27日 県建築文化賞受賞記念講演会
  - 30日 第4回正副会長および総務委員会合同会議
  - 31日 建設生産システム構築並びに担い手確保に向けた懇談会
- 【2月】**
  - 10日 白河支部例会
  - 21日 建産連令和4年度第3回参与会
  - 会津支部例会
  - 福島支部例会
- 【3月】**
  - 6日 根本匠シンポジウム
  - 9日 総合設備協会3団体会長会議
  - 11日 東日本大震災追悼復興祈念式典
  - 20日 建産連第41回理事会
  - 21日 第71回自由民主党福島県支部連合会定期大会
  - 22日 会津支部例会
  - 23日 建災防第4回財政改善検討委員会
  - 24日 日電工理事会
  - 29日 第3回理事会・各委員会
  - 福島支部例会

人と環境を明日へつなぐ、  
ニノテックのシステムエンジニアリンク

Engineering & Engineer LINK  
**株式会社ニノテック**  
NINOTEC 代表取締役社長 樽川 啓

本社 / 〒963-8577 郡山市島二丁目44-2  
TEL (024) 935-1700 FAX (024) 935-1706  
支店 / 仙台 営業所 / いわき・福島・県南 出張所 / 南相馬  
https://www.ninotec.co.jp/

MITSUBISHI ELECTRIC  
Changes for the Better

空調・冷熱製品  
電材住設備製品、家電製品

**三菱電機住環境システムズ株式会社**  
福島支店

〒963-8071 郡山市富久山町久保田字太郎殿前47番  
久保田共栄ビル  
TEL 024-941-5030 FAX 024-941-5035

**ヤンマーエネルギーシステム株式会社**  
いわき営業所

〒971-8124 福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四一

TEL (0246) 581-5811  
TEL (0246) 581-5811  
FAX (0246) 581-5811

ディーゼル発電機 ガスタービン  
コージェネレーションシステム

OKADA

地域産業の振興と明るく豊かな社会づくりを目指しています。

電気設備機器と住宅設備機器のコーディネーター  
**岡田電気産業株式会社**

【本社】 〒970-8625 福島県いわき市平谷川瀬字明治町27  
TEL (0246) 25-6111 FAX 25-6101

白須郡	河川	TEL (0248) 27-3385
須賀郡	山田	TEL (0248) 72-7136
南会津郡	山田	TEL (024) 952-5455
会津若松市	山田	TEL (024) 923-3298
会津若松市	山田	TEL (024) 939-3081
会津若松市	山田	TEL (024) 927-0480
会津若松市	山田	TEL (0242) 37-2660
会津若松市	山田	TEL (0241) 21-8585
会津若松市	山田	TEL (0242) 36-5150
会津若松市	山田	TEL (0240) 21-2370
会津若松市	山田	TEL (0244) 22-5105
会津若松市	山田	TEL (0244) 35-1234
会津若松市	山田	TEL (024) 546-3700
会津若松市	山田	TEL (024) 553-1181
会津若松市	山田	TEL (0246) 28-6111
会津若松市	山田	TEL (0246) 62-3122

岩手・宮城・山形・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟  
電材営業所 66カ所  
住設建材営業所 27カ所



# インターンシップ 感想文

県立小高産業技術高校  
県立平工業高校

## 将来は電気工事の世界に

県立平工業高校 鈴木 瑠唯

先日のインターンシップでは、私達平工業高等学校電気工学科が大変お世話になりました。インターンシップをととても楽しみにしていたため、常にワクワクしていました。

1日目には風力発電の現場見学をさせていただきありがとうございました。実際に風力発電を組み立てている現場に行ったことがなかったため、とても貴重な体験となりました。

2日目は木造で建築されているクリニックなどを見学しました。実際に近い距離で見学することで滅多に見ることができない配線がどういふふうになっているのかがよく分かりました。細かい配線もあったので難しいなと感じました。

3日目は数量拾いを覚えました。住宅図面を利用してとても細かく行いました。初めてということもあったため、とても時間がかかってしまいました。もう少し早く終わらせたかったです。

今回のインターンシップを終えて、電気工事というものがより具体的に理解できたと思います。将来、電気工事の仕事に就くつもりであるため、基礎からしっかり学んでいきたいと思っています。

吉田様、稲坂様、平沢様、油座様、渡辺様、戸田様、3日間のインターンシップでは大変お世話になりました。ありがとうございました。この経験を生かしてこれからも頑張っていきたいです。

## 学び技術を覚えた3日間

県立平工業高校 大竹 遥人

今回は年末年始の忙しい貴重な時間を使い、僕達に様々な仕事を教えて下さる体験を3日間も行っていただけるとのことだったので、学ぶ姿勢をとることができ、楽しく作業することができたので良かった。

1日目はハイアンプとグランピング場と実際に現地に行き仕事内容を学ぶことができた。大型商業施設ということもあり、かなり大規模な装置を複数個見学させていただいた。難しい慎重に行わなければならない仕事だということを実感することができた。

午後は数十mのケーブル切断の作業をした。4人で協力して丁寧に作業をすることができた。また、警備の仕事も見学させていただき、たくさんの企業などの警備を受け持っていることを知り、大変さを知ることができた。

2日目は消防設備の見学、体験をした。身の回りにたくさんある火災報知器や誘導灯の点検をした。学校で何度か点検の様子を見たことがあったので、少しなじみのある仕事だった。詳しい仕組みを知り、とても楽しく作業することができたので良かった。また警報機の内部構

造や貯水ポンプのことについてもよく知ることができたので良かった。

最終日となる3日目は会社の中で図面作成や積算を行った。午前中に行った積算は思っていたよりも大変で、正確さを求められる長時間の仕事だったが、正確に照明器具の個数を出し、パソコンで行った見積もり作業を正確に、スムーズに行うことができた。午後に行った図面作成も午前の作業と同様に根気のいる作業だった。うまくペーストする位置に合わせる事が難しく大変な作業だったが、丁寧にすることができたので良かった。

この3日間を通して、様々なことを学び技術を習得することができた。仕事で教わった技術や大切なことを忘れずに今後活かすことができれば、より良い学校生活を送ることが出来ると思う。来年行われる電気工事士などの様々な資格試験、就職、進学活動に今回のインターンシップで学んだ多くのことを活用していきたいと思った。

## 体験を今後役に立てる

県立平工業高校 藤野 悠斗

今回、平工初のインターンシップということで何の情報もないまま会社に出社しましたが、出社前日はとても緊張して夜も寝られないぐらいでした。

初出社した初日は、会社とは何かや概要、ビデオ研修、ケーブルの圧着・切断などをさせていただきましたが、お話がとても面白く、耳に内容がスッと入ってきました。他にも「42Vは死にボルト」やケーブルの圧着・切断をする際の工具の使い比べなど貴重な体験をさせていただきました。

2日目では既に習ったエクセルの応用やこれから習うCADなどを分かりやすく教えてもらいました。私が作業でつまづいて分からなかった所は、岡部様が理解できるまで教えてくださり、とても有難く思いました。

3日目の最終日には、実際に電気工事で使う電線管を曲げる作業をしました。太さは22、25、28と太くしていき、それらをパイプベンダーで曲げていきました。最初は力さえあれば良いだろうと思っていましたが、想像以上に技術が必要だったのに加え、それを毎日行う作業の方々には尊敬の念を抱きました。

最後に、私たちに社会とは何か、会社とは何かそして社会に出る時に必要な能力を教えてくださいました。普段から電気系の職に就いている方とは話せないもので、いろいろなことを知れて、とてもためになりました。今回聞いた話や体験をふまえて、これからの人生設計に役立てていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

## 企業に対する考え変化

県立平工業高校 佐藤 伶

私は、今回のインターンシップで企業に対する考えが大きく変わりました。インターンシップを行う前は、企業は厳しく大変でいそがしいというイメージを持っていました。

そして、1日目の出社をするといったときは、会社の迷惑にならないように心がけていきたいと思ながら入社し、矢吹様のお話を聞き、企業内の案内と説明、安部

様による富士電機についてのお話が午前であり、午後は車で各場所を見てまわるといことを行いました。この日では植田電機についてよく学ぶことができ、植田電機は富士電機の特約店だということを知りました。

2日目では、車で下水道施設と平蔵塚ポンプ場に見学しに行きました。下水道施設では、どのように制御されているかをあけて見せていただき、下水道施設の回路図を見たときには複雑すぎてすごいと思いました。平蔵塚ポンプ場では、実際に電気工事の現場を見ることができ、すばやく的確に作業されていたのを見て、これから自分も頑張っていこうと思いました。

3日目では、実習を行い、CADによるパソコンでの回路図の作成とリレーシーケンス回路を組み理解することを行いました。パソコンは使い方をよく知ればできると思いましたが、実際に回路を組むとなると理解しているだけでなく、慣れていく必要があると感じました。

インターンシップ3日間を通して学べることは多く、仕事が大変だとは思いましたが、これから先、資格を取っていき私もやっていけるようになりたいと思えるようなインターンシップだったと思いました。そして、矢吹様、吉田様、安部様、山野様、大久保様、仙坂様、インターンシップの3日間では大変お世話になりました。植田電機様、本当にありがとうございました。

## 優れた技術に感動

県立小高産業技術高校 遠藤 悠晟

このインターンシップで経験したことは初めてのことばかりでした。

全ての元となるCAD製図や実際の現場の見学、腕が試される現場作業、電気工事士にはなくてはならない高所作業車の運転実習。実演したものに関しては、不慣れということもあり、最初は思うように進まず戸惑ってしまいました。それでも慣れていくにつれて滞りなく作業が進みました。

この経験した実施内容において職人の技を実感できました。それはとても素晴らしい技術であると3日間感動しておりました。

私はまだ技術など未熟ですが、今回のインターンシップを糧に自分自身もっと成長していきたいと思っています。3日間お世話になりました。ありがとうございました。

## 実際の仕事に触れ満足感

県立小高産業技術高校 角田 凱音

初日は授業で習った事や、教科書で見た工具や測定器を実際に使い、抵抗の測定やブレーカの確認を行ったので、経験になり、実際の現場を見ることができて良かったです。

2日目はJA小高へ行き、古くなった照明器の取り替え工事を手伝ったり、配電盤を見せてもらいました。配電盤は電気工事士試験でも勉強しましたが、実物を見ながら教えてもらえて良かったです。電柱工事では力仕事があり、少し疲れましたが、接地作業を近くで見ることができて良かったです。

3日目はCVTの端子の油圧・圧着をしました。線が太く固く、被覆をむくのが大変でしたが、教えてもらいきれいにむけました。あかりプランは自分好みの照明を見つけることができて大変良い経験になりました。

当協会は、電気保安の確保とエネルギーの合理的な使用を通じて、地域社会の発展に貢献します。エネルギー監視サービスと省エネに関するご相談なども承っております。

あんぜん、きつく、あんしん  
**東北電気保安協会**

福島事業本部	福島市矢剣町1-22	☎(024)526-1311
福島事業所	福島市矢剣町1-22	☎(024)526-2111
原町事業所	南相馬市原町区上波佐原田432-1	☎(0244)22-3568
郡山事業所	郡山市富田町稲川原1	☎(024)932-6054
白河事業所	白河市十三原道3-51	☎(0248)22-6066
いわき事業所	いわき市好間町上好間洞42-1	☎(0246)36-1177
会津事業所	会津若松市町北町大字上荒久田字村北147	☎(0242)32-3350

**電気技術総合コンサルタント**!!  
自家用電気施設のことは、お気軽に、ご相談下さい。

一般社団法人  
**東北電気管理技術者協会**

協会本部/仙台市青葉区花京院二丁目1-11プレジエザ仙台ビル TEL(022)261-6015

福島県支部	福島市泉字清水田20-3	(024)502-3129
福島電気管理センター	伊達郡川俣町大字東福沢字坊ノ入45-2	(090)4886-2892
郡山電気管理センター	郡山市富久山町福原字沼下16-18	(090)1935-6169
会津電気管理センター	会津若松市南千石町4-29	(080)5225-2628
相双電気管理センター	南相馬市原町区仲町二丁目27	(090)8423-5650
白河電気管理センター	東白河郡塔町大字瑞字材木町5-4	(070)2034-8391
いわき電気管理センター	いわき市平下神谷字宿50	(090)3756-2499

高品質で省エネ — LEDランプはレディオック

**LEDiOC**

岩崎電気株式会社

岩崎電気株式会社  
新住所 〒963-8071 <http://www.iwasaki.co.jp>  
郡山市富久山町久保田字伊賀河原34 HDビル 伊賀河原2階  
TEL(024)900-9002 FAX(024)900-9001

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器  
電線管及び付属品・電線資材一式卸

**株式会社 トベ**

宮城県岩沼市押分字南谷地86-5  
TEL(0223)25-6701

■福島営業所	福島市瀬上町字桜町3-12-3	☎(024)553-8551(代)
■福島西営業所	福島市大森字街道下57-1	☎(024)544-6228(代)
■郡山営業所	郡山市安積4-277	☎(024)937-2462(代)
■原町営業所	南相馬市原町区北原字本屋敷153	☎(0244)23-6106(代)
■相馬営業所	相馬市椎木字北原104-1	☎(0244)35-6350(代)
■いわき営業所	いわき市平塩字出口43-5	☎(0246)76-1055(代)
■いわき南営業所	いわき市鹿島町御代字大一田1-1	☎(0246)76-1055(代)

**新明電材は  
電設資材の総合商社です**

「どこよりも安く、早く、確実に」  
確かな商品供給力でお客様をバックアップします

福島県内営業所	いわき営業所 TEL.0246-72-1007
	郡山営業所 TEL.024-962-7015

電設資材のベストパートナー  
**新明電材株式会社**

**一賛助会員募集一**

(一社)福島県電設業協会は、顧客に高性能・高品質・高効率な設備のトータルシステムを適正価格で提供することで新しいニーズを掘り起こします。

**【賛助会員の特典】**

- ・機関紙をはじめ各種広報資料をお送りします
- ・名刺等の肩書きに賛助会員の表示ができます

※詳しくはホームページをご覧ください



福島支部

notte  
tellata

3月に宮城へスケートショーを観賞に行ってまいりました。

世界で活躍する8人のシヨールを見て感動し涙が溢れる感覚に襲われ、コロナパンデミックにより忘れかけていた高揚感を味わうことができ、最高のストレス解消となりました。

皆さんも好きな舞台、シヨールなどを観賞しに行くことで、もやもやした気持ちを晴らす時期ではないかと思えます。タイトルの「notte stealata」はイタリア語で「満天の星」

白河支部

経営者の本音

今年末に発売された「ゆるい職場」という本を読んでいます。そこには仕事が終わるまで辞めたという悩みが若者が多いと書かれています。ゆるい職場をゆるくするのでは、意外と振り回されて、本質を見失いがちな時もあるのかなどと感じがしますが、読み進めています。

相双支部

人間ドック

2年に一度、PET健診、ドッグ健診を受けています。今年がその年だったため受診してきました。相変わらず脳ドックは狭い機材に頭を入れず、PET健診も造影剤を入れられ、体に回るのに時間がかかり待っているのが嫌です。

編集後記

3月に入ったとある屋下がり、東京都港区にある国立新美術館で「ルーヴル美術館展 愛を描くを鑑賞した。コロナ禍で都内の美術館やコンサートホールなど文化芸術鑑賞の機会も失われて残念な状況でありましたね。

会員の声

郡山支部

VRと向き合う

VR(バーチャルリアリティ)とは、コンピュータによって創り出された仮想的な空間などを現実であるかのように疑似体験できる仕組みです。

VRの分野であるテレレグジスタンス(遠隔臨場感)とは、遠隔地にある物あるいは人が、あたかも近くにあるかのように感じながら、操作などをリアルタイムに行える技術のことです。

土木業界では、オペレーターが事務所の操作室から遠隔地にあるバックホーを、実際にその場

いわき支部

リハビリ

3年間のコロナ自粛もようやく落ち着きを取り戻し、日常に戻りつつあるようで安心だ。3年の月日は生活そのものと自分自身の日常そのものが失われていて、最近では自分のルーティーンを取り戻すことに必死ですね。

会津支部

我が母校

我が母校、県立会津工業高校は創立120周年を迎えました。



2年前の4月に電気科の入職者減少という大きな情報技術科が統合された影響が出るのではと大いに心配していましたが、新しく電気情報科と変化しています。



18代続いた三浦家の家訓に「身体が健康である

機会あったら、ぜひともフランスの芸術文化の香りを感じていただきたいませ。お勧めです(広報委員 三浦光博)。

機能アップ... Superラインチェツカ TLC-C形... 株式会社 戸上電機製作所 東北オフィス

配分電盤、制御盤メーカー ISO9001取得 ISO14001取得 株式会社 ワイム

TOSHIBA 照明器具・LED光源・配線器具 東芝ライテック株式会社

東和電機工業株式会社 URL http://www.towagp.co.jp/

ご活用ください、本紙 Web www.fk-news.co.jp 購読会員無料ID発行中

FURUKAWA 配電盤 制御システムメーカー 古川電気工業株式会社 郡山支店